

令和2年度

菊川市多文化共生に関する市民アンケート

報告書

令和3年3月

菊川市

I 調査の概要

1. 調査時期

令和2年12月23日～令和3年1月22日

2. 調査対象区域

菊川市全域

3. 調査対象

菊川市に居住する16歳以上の市民1000人(住民基本台帳より無作為抽出)

4. 調査方法

郵送配布、郵送回収。書面自記入方式。

5. 回収状況

- (1) 配布数 1000通
- (2) 回収数 368通
- (3) 回収率 36.8%

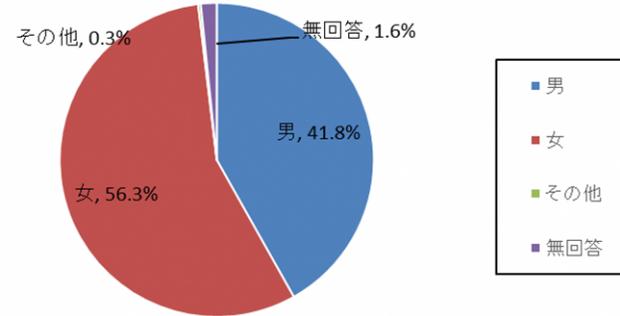
Ⅱ 調査結果

属性

① 性別

選択項目	人数	構成比
男	154	41.8%
女	207	56.3%
その他	1	0.3%
無回答	6	1.6%
計	368	100.0%

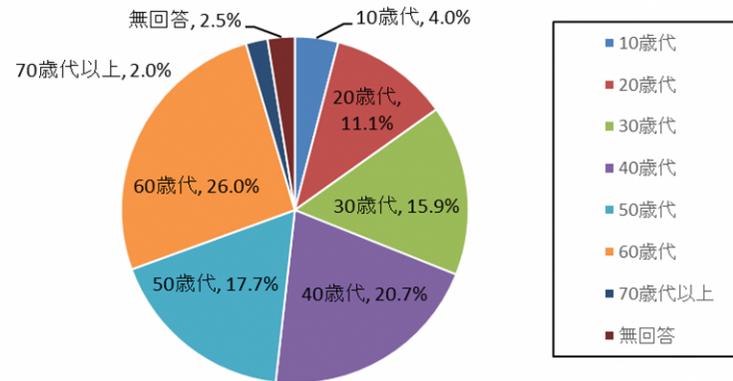
① 性別



② 年齢

選択項目	人数	構成比
10歳代	16	4.0%
20歳代	44	11.1%
30歳代	63	15.9%
40歳代	82	20.7%
50歳代	70	17.7%
60歳代	103	26.0%
70歳代以上	8	2.0%
無回答	10	2.5%
計	396	100.0%

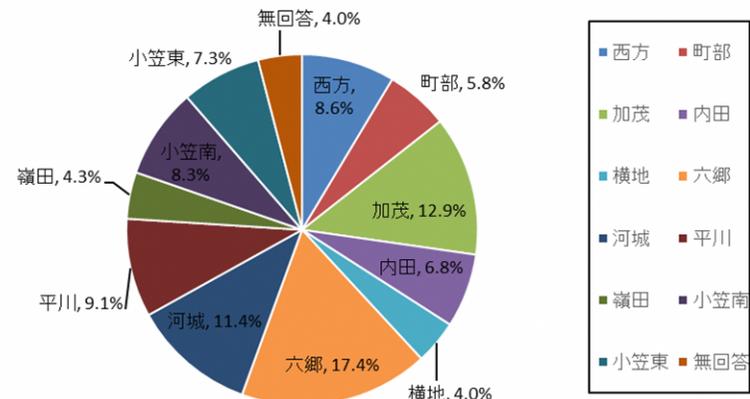
② 年齢



③ 地区(行政区)

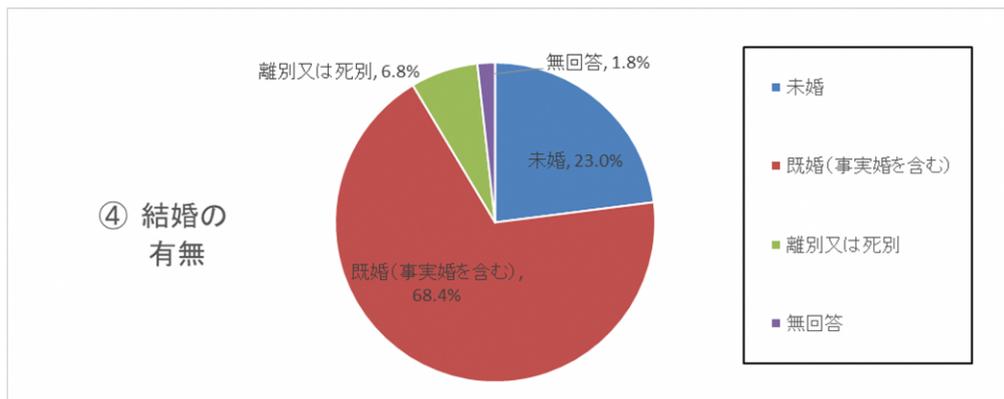
選択項目	人数	構成比
西方	34	8.6%
町部	23	5.8%
加茂	51	12.9%
内田	27	6.8%
横地	16	4.0%
六郷	69	17.4%
河城	45	11.4%
平川	36	9.1%
嶺田	17	4.3%
小笠南	33	8.3%
小笠東	29	7.3%
無回答	16	4.0%
計	396	100.0%

③ 地区
(行政区)



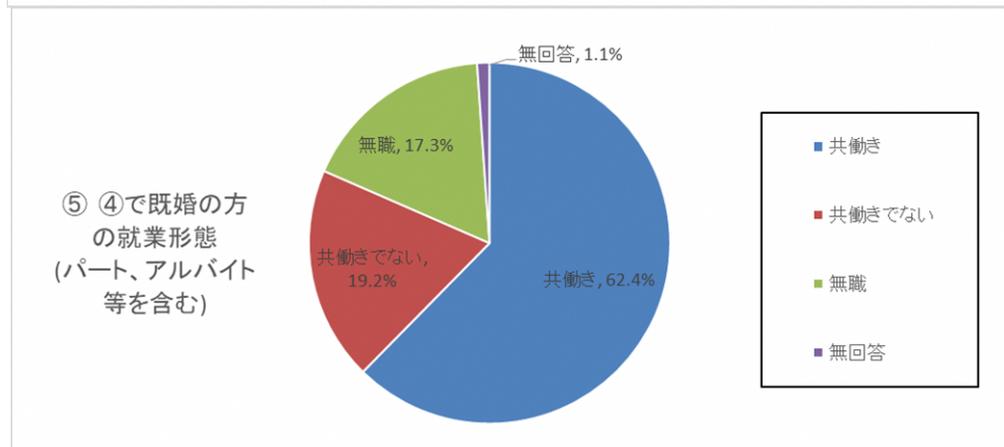
④ 結婚の有無

選択項目	人数	構成比
未婚	91	23.0%
既婚(事実婚を含む)	271	68.4%
離別又は死別	27	6.8%
無回答	7	1.8%
合計	396	100.0%



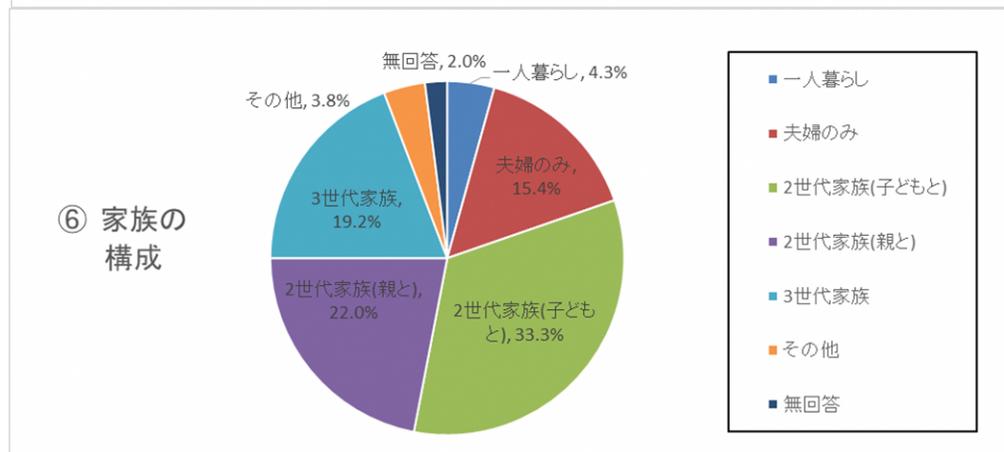
⑤ ④で既婚の方の就業形態(パート、アルバイト等を含む)

選択項目	人数	構成比
共働き	169	62.4%
共働きでない	52	19.2%
無職	47	17.3%
無回答	3	1.1%
計	271	100.0%



⑥ 家族の構成

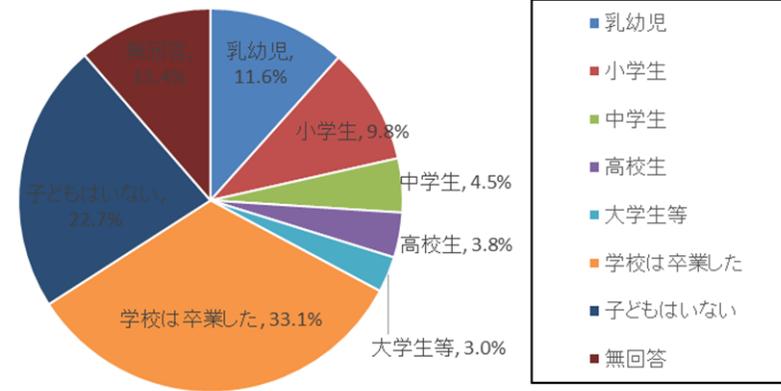
選択項目	人数	構成比
一人暮らし	17	4.3%
夫婦のみ	61	15.4%
2世代家族(子どもと)	132	33.3%
2世代家族(親と)	87	22.0%
3世代家族	76	19.2%
その他	15	3.8%
無回答	8	2.0%
計	396	100.0%



⑦ 子供の有無と一番下の子供の階層

選択項目	人数	構成比
乳幼児	46	11.6%
小学生	39	9.8%
中学生	18	4.5%
高校生	15	3.8%
大学生等	12	3.0%
学校は卒業した	131	33.1%
子どもはいない	90	22.7%
無回答	45	11.4%
計	396	100.0%

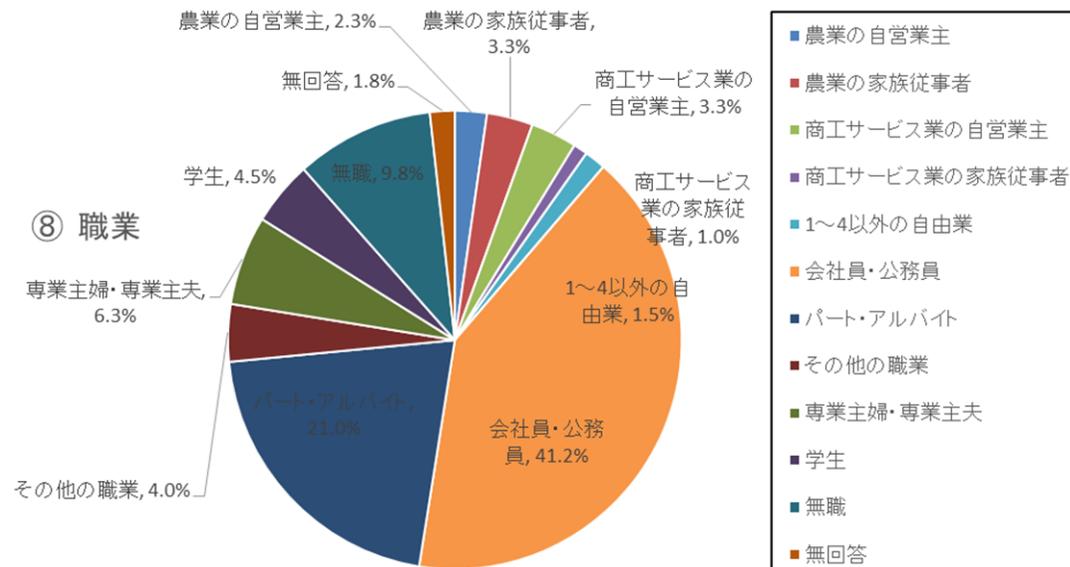
⑦ 子供の有無と一番下の子供の階層



⑧ 職業

選択項目	人数	構成比
農業の自営業主	9	2.3%
農業の家族従事者	13	3.3%
商工サービス業の自営業主	13	3.3%
商工サービス業の家族従事者	4	1.0%
1~4以外の自由業	6	1.5%
会社員・公務員	163	41.2%
パート・アルバイト	83	21.0%
その他の職業	16	4.0%
専業主婦・専業主夫	25	6.3%
学生	18	4.5%
無職	39	9.8%
無回答	7	1.8%
計	396	100.0%

⑧ 職業



多文化共生について

(1)あなたは外国に住んだことがありますか。外国での居住経験がある人は通算何年外国に住んでいましたか。次の中から1つを選んでください。

○すべての年代において、80%以上の人「外国に住んだことはない」と回答しており、70歳代では回答者全員が外国に住んだ経験がない。

○「外国に住んだことがある」と回答した人の居住年数はどの年代でも「通算1年未満」が最も高くなっている。

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
外国に住んだことはない	325	88.3%	15	88.2%	34	89.5%	56	88.9%	51	87.9%	68	91.9%	90	84.9%	6	100.0%	5	83.3%
通算1年未満	15	4.1%	1	5.9%	4	10.5%	3	4.8%	3	5.2%	1	1.4%	3	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
通算1年以上	5	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	2.7%	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
通算5年以上	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.7%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	20	5.4%	1	5.9%	0	0.0%	3	4.8%	2	3.4%	2	2.7%	11	10.4%	0	0.0%	1	16.7%
合計	368	100.0%	17	100.0%	38	100.0%	63	100.0%	58	100.0%	74	100.0%	106	100.0%	6	100.0%	6	100.0%

回答者数（合計－無回答）

348

16

38

60

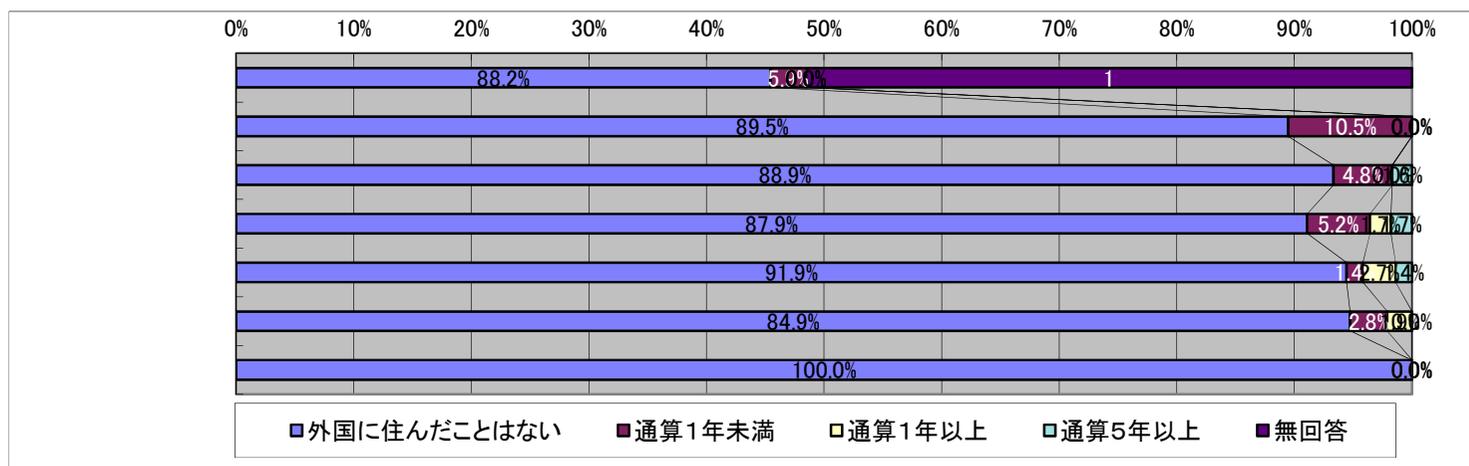
56

72

95

6

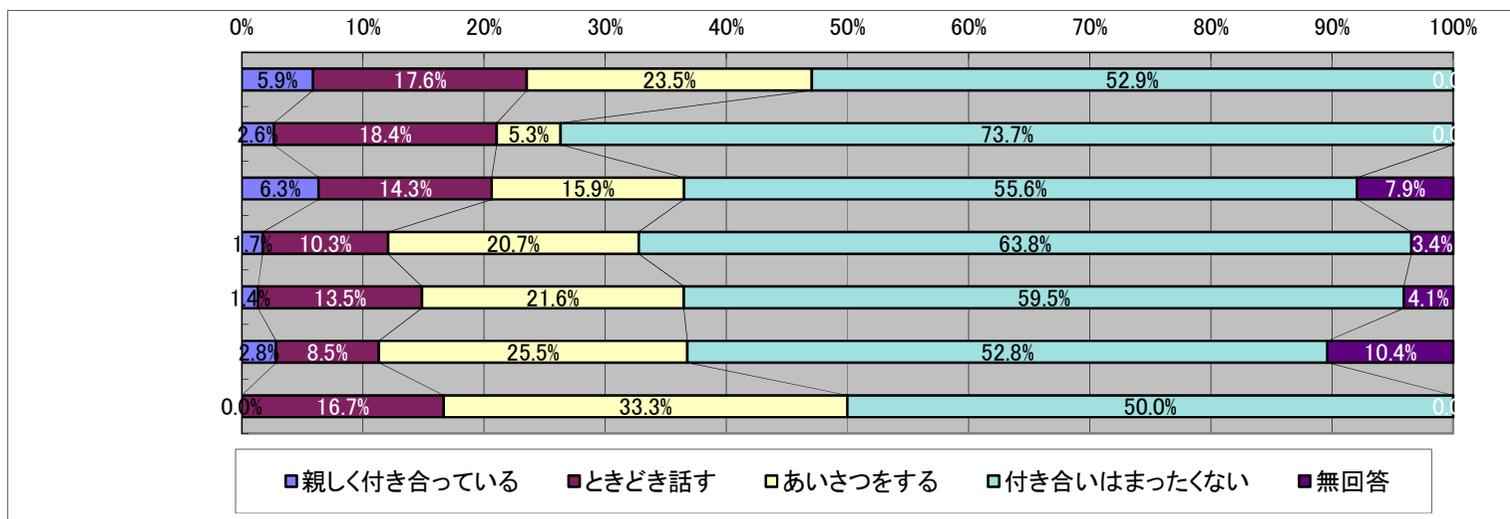
5



(2)あなたは近所の外国人と付き合いはありますか。次の中から1つを選んでください。

○すべての年代において、50%以上の人「付き合いはまったくない」と回答しており、70歳代で「親しく付き合っている」と回答した人はいなかった。

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
親しく付き合っている	11	3.0%	1	5.9%	1	2.6%	4	6.3%	1	1.7%	1	1.4%	3	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
ときどき話す	45	12.2%	3	17.6%	7	18.4%	9	14.3%	6	10.3%	10	13.5%	9	8.5%	1	16.7%	0	0.0%
あいさつをする	73	19.8%	4	23.5%	2	5.3%	10	15.9%	12	20.7%	16	21.6%	27	25.5%	2	33.3%	0	0.0%
付き合いはまったくない	217	59.0%	9	52.9%	28	73.7%	35	55.6%	37	63.8%	44	59.5%	56	52.8%	3	50.0%	5	83.3%
無回答	22	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	7.9%	2	3.4%	3	4.1%	11	10.4%	0	0.0%	1	16.7%
合計	368	100.0%	17	100.0%	38	100.0%	63	100.0%	58	100.0%	74	100.0%	106	100.0%	6	100.0%	6	100.0%
回答者数(合計-無回答)	346		17		38		58		56		71		95		6		5	

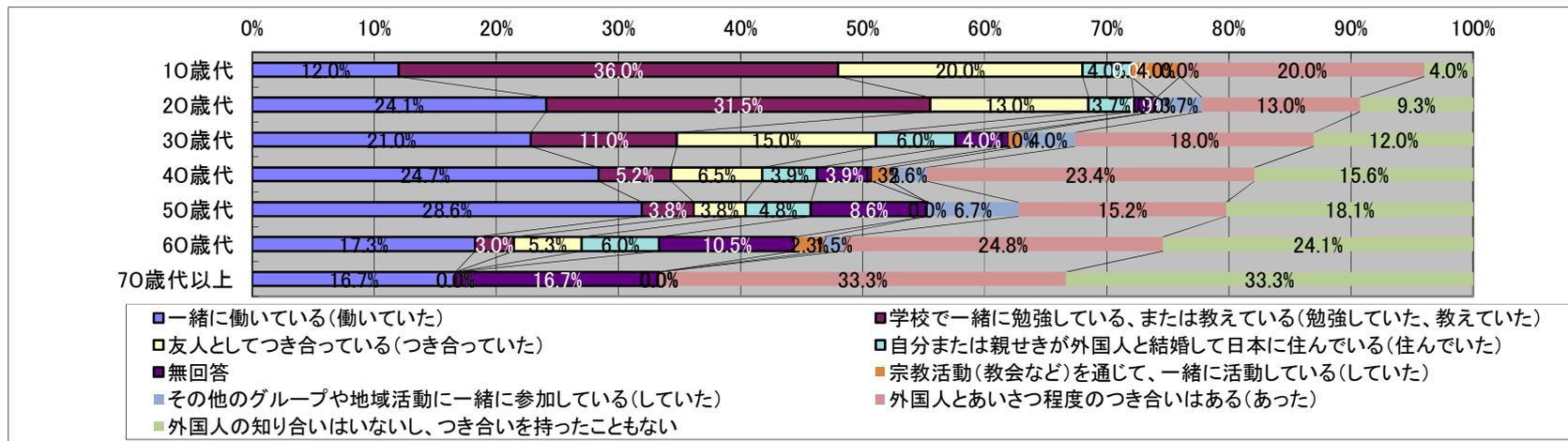


(3)あなたは外国人とどのような付き合いがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

○10歳、20歳代では「学校で一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた)」割合が最も高く、30歳～70歳代では「一緒に働いている(働いていた)」割合が最も高くなっている。

○年代が上がるにつれて「外国人の知り合いはいないし、つき合いをもったこともない」と回答した人の割合が増加している。

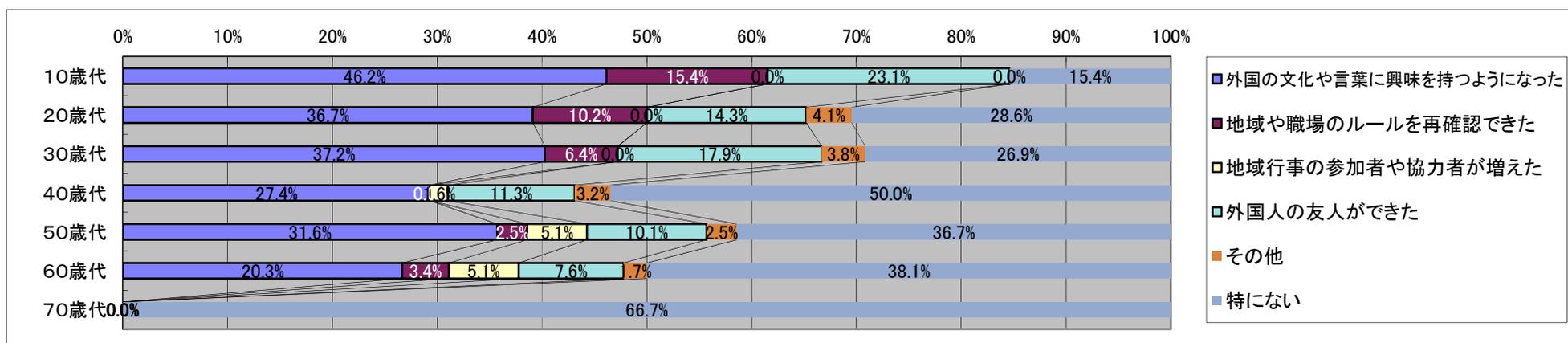
選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
一緒に働いている	114	22.4%	3	12.0%	13	24.1%	21	21.0%	19	24.7%	30	28.6%	23	17.3%	1	16.7%	4	50.0%
学校で一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた)	50	9.8%	9	36.0%	17	31.5%	11	11.0%	4	5.2%	4	3.8%	4	3.0%	0	0.0%	1	12.5%
友人としてつき合っている(つき合っていた)	43	8.5%	5	20.0%	7	13.0%	15	15.0%	5	6.5%	4	3.8%	7	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた)	25	4.9%	1	4.0%	2	3.7%	6	6.0%	3	3.9%	5	4.8%	8	6.0%	0	0.0%	0	0.0%
国際交流グループで一緒に活動している(していた)	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
こどもの通う学校でのPTA活動などを通じて、遺書に活動している(していた)	34	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	7.0%	10	13.0%	11	10.5%	6	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた)	6	1.2%	1	4.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.3%	0	0.0%	3	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた)	17	3.3%	0	0.0%	2	3.7%	4	4.0%	2	2.6%	7	6.7%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
外国人とあいさつ程度のつき合いはある(あった)	100	19.7%	5	20.0%	7	13.0%	18	18.0%	18	23.4%	16	15.2%	33	24.8%	2	33.3%	1	12.5%
外国人の知り合いはいないし、つき合いを持ったこともない	84	16.5%	1	4.0%	5	9.3%	12	12.0%	12	15.6%	19	18.1%	32	24.1%	2	33.3%	1	12.5%
無回答	33	6.5%	0	0.0%	1	1.9%	4	4.0%	3	3.9%	9	8.6%	14	10.5%	1	16.7%	1	12.5%
合計	508	100.0%	25	100.0%	54	100.0%	100	100.0%	77	100.0%	105	100.0%	133	100.0%	6	100.0%	8	100.0%
回答者数(合計-無回答)	475		25		53		96		74		96		119		5		7	



(4)あなたは外国人と関わる中で良かったことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

○若い年代ほど「外国の文化や言葉に興味を持つようになった」「地域や職場のルールを再確認できた」「外国人の友人ができた」の割合が高く、「特にない」の割合が低くなっている。

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
外国の文化や言葉に興味を持つようになった	127	30.0%	12	46.2%	18	36.7%	29	37.2%	17	27.4%	25	31.6%	24	20.3%	0	0.0%	2	33.3%
地域や職場のルールを再確認できた	20	4.7%	4	15.4%	5	10.2%	5	6.4%	0	0.0%	2	2.5%	4	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
地域行事の参加者や協力者が増えた	11	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	4	5.1%	6	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
外国人の友人ができた	51	12.0%	6	23.1%	7	14.3%	14	17.9%	7	11.3%	8	10.1%	9	7.6%	0	0.0%	0	0.0%
その他	11	2.6%	0	0.0%	2	4.1%	3	3.8%	2	3.2%	2	2.5%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
特にない	151	35.6%	4	15.4%	14	28.6%	21	26.9%	31	50.0%	29	36.7%	45	38.1%	4	66.7%	3	50.0%
無回答	53	12.5%	0	0.0%	3	6.1%	6	7.7%	4	6.5%	9	11.4%	28	23.7%	2	33.3%	1	16.7%
合計	424	100.0%	26	100.0%	49	100.0%	78	100.0%	62	100.0%	79	100.0%	118	100.0%	6	100.0%	6	100.0%
回答者数(合計－無回答)	371		26		46		72		58		70		90		4		5	



(5)あなたは外国人と関わる中で良かったことはありますか。どちらか1つを選んでください。

○どの年代においても「はい」と回答する割合よりも「いいえ」と回答する割合が高くなっている。

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
はい	94	25.5%	3	17.6%	11	28.9%	13	20.6%	16	27.6%	25	33.8%	23	21.7%	1	16.7%	2	33.3%
いいえ	221	60.1%	13	76.5%	26	68.4%	45	71.4%	39	67.2%	41	55.4%	51	48.1%	3	50.0%	3	50.0%
無回答	53	14.4%	1	5.9%	1	2.6%	5	7.9%	3	5.2%	8	10.8%	32	30.2%	2	33.3%	1	16.7%
合計	368	100.0%	17	100.0%	38	100.0%	63	100.0%	58	100.0%	74	100.0%	106	100.0%	6	100.0%	6	100.0%

回答者数(合計－無回答)

315

16

37

58

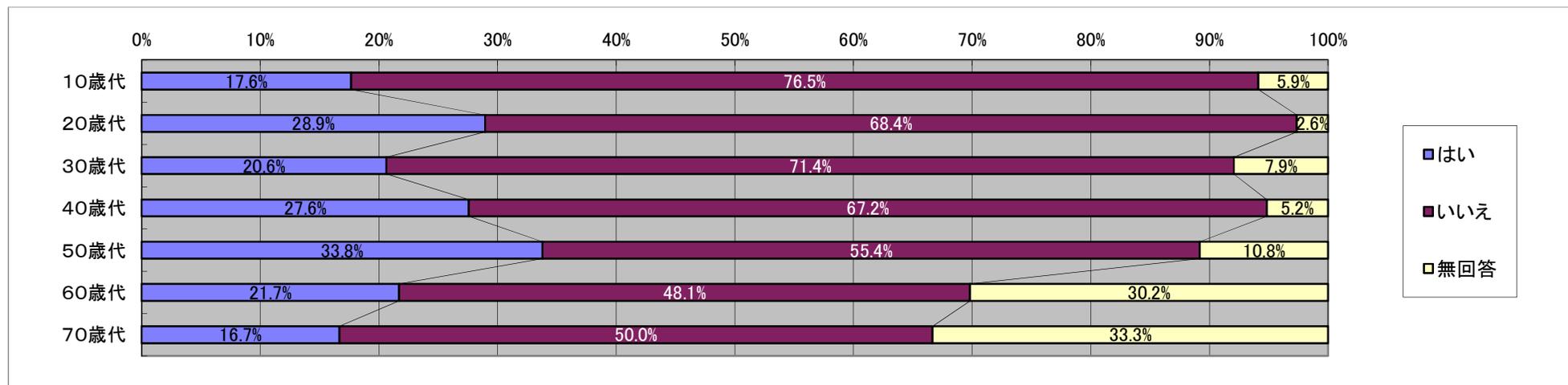
55

66

74

4

5



(6)外国人と付き合う際に困ったこと

言葉が通じない。考え方がわからないので、相手の反応を確認しながら話を進めるようにした。

難しい日本語が通じない

言葉の理解

言葉

考え方の違い。言葉がわからない。

ルールを守らない。ごみを放置する。騒ぐ(昼夜気にせず)。においがきつい。

言葉が通じない

言葉が通じないこと

生活の違い。考え方の違い。アメリカの様に、日本に住む為には日本のルールに従いますという申請書を出させたらいいか？

地区でのルールを理解してもらえない。掃除やごみ捨てが特に。

言葉が通じない

文化、習慣

言語がお互いに通じない

言葉

言語の壁が大きく感じた。日本の英語の教え方が変だと思った。日本は海外の言葉を特別扱いしすぎていると感じる。子供が言葉を教えるのと同じように教えれば良いと思う。学校が教えるやり方からそう感じた。

決まり事などなかなか理解してもらえない。

ルールを守ってくれなかったこと。自分勝手にわがままで、勝手に休むところ(仕事での話)

言葉も多様でコミュニケーションをどうとるか。相手側がこちらに心を開いてくれる方法の模索。

言葉が通じない。ごみの出し方、ごみ袋に名前も書かない。

生活習慣の違い

簡単な言葉はわかるが、心の内は理解できない。理解してもらえない。

言葉

言葉が通じない。ルールを守らない。

伝えたい事もちゃんと伝える事ができない(言葉の違いで)

言葉、習慣の違い

言葉 細かいニュアンスが通じない

言葉が通じない

言葉

会話するときに英語が話せない。

LINEを送る時に漢字を使っても大丈夫なのかわからなかった。全部ひらがなで送ったが失礼にならないか心配だった。

語学のなさ、言葉が通じないこと。

言葉が通じない

言葉がわからなかったこと

言葉が伝わらない

言葉

介護職で中国人女性と働いたことがあったが、自分勝手に仕事のルールは無視。注意しても聞いてくれず…。コミュニケーション的にギクシャクした。

言葉が通じなかったり、相手が漢字を読めない事があった。

都合が悪くなった時に日本語がわからないと、悪いことを認めない。

言葉が通じないときがある。

地域の行事での伝言がどこまで伝わったか心配になる。

言葉

言葉、コミュニケーション

相手は日本語をしゃべれるが、細かな意味、ニュアンスが伝わらない。

多分言葉が通じないのが大きな問題では？

言語、習慣

言語が通じ合わないため、コミュニケーションがとりにくい。お互いの文化を分かり合わなければならない。

仕事での会話ができない。

言葉の違い

文化が違うせいか、自治会に参加しないし、会費も払いたがらない(一応払ってくれるが)。班長もやらないと思う。同じ班の班長は困る。連絡がそもそもつかない。自治会というものの自体を何とも思っていない。

言葉がわからない

言葉、会話

言葉の問題で上手く伝えられない。

言葉、文化の違い

言葉がわからない

理解していないのに返事は「はい！」しか言わない。わからないならわからないと言ってくれないから困る。

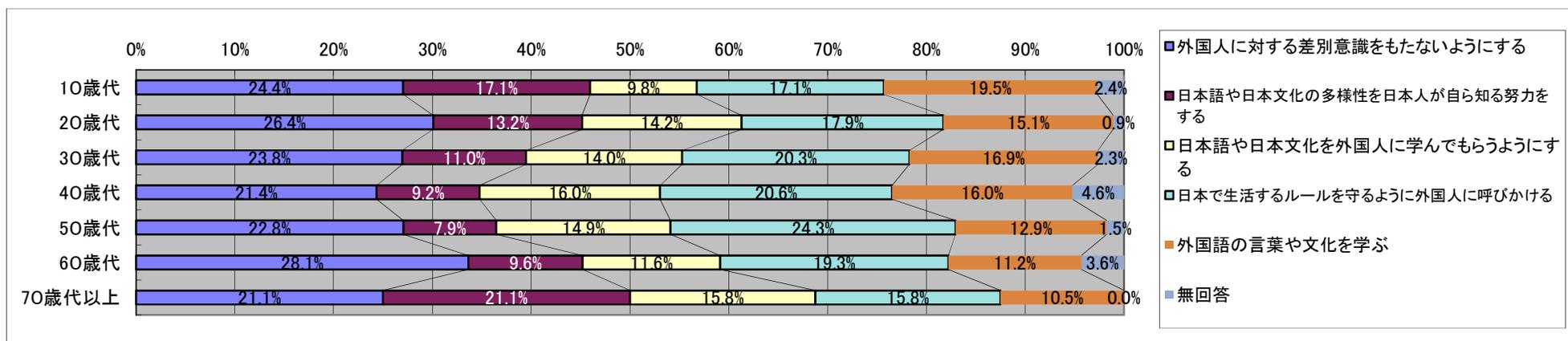
○言葉が上手く伝わらない。文化の違いに戸惑った。
○近所にコンビニがあるが、2～3時間大きな声で話をしていて、そこが彼らの集会所みたいで大迷惑です。そのコンビニに言ってもと思い我慢しています。すごいストレスです。なぜ彼らは声が大きいのでしょうか。
○生活習慣、考え方の違いから、近所に住む人には迷惑を感じる人が多い。
○「はい」と答えても実際はわかってないことがよくある。
○相互の言葉の理解
○日本語が伝わらない
○言葉、特に漢字
○生活習慣の違い。考え方が違う。
○会話
○言葉
○言葉、文化の壁
○コミュニケーションがとれない(言葉など)
○文化の違い
○食文化の違い
○言葉が通じない
○自分の意見は絶対！という感じで意見を聞かないところ。
○言語の問題
○言語の問題、しかし伝えたい思いがあれば伝わることも多かった。
○言葉(相手に求めるのではなく、自分に能力がない事)
○言葉が通じない
○コミュニケーションがうまくとれない。文化の違い。

○生活習慣の違い(食事等)
○日本のルールを守れない外国人は困る。日本のルールを守れないのなら日本に来るべきではないと考える。
○意思疎通ができていないのか不安になりました。
○言語、言葉が通じない
○中国人。日本人では当たり前のルールを守れず、注意すると感情的になり、手が付けられない。
○仕事面において事務的で割り切りすぎる。細かなルールを守らない。
○言葉が通じない。時間に対する考え方が違う(集合時間厳守など)
○言語、習慣の違い
○言葉が通じない。考え方が違いすぎて、自分のもつ常識とかけ離れた話か行動に戸惑う。
○言葉が通じず、意思疎通が難しいことがあり困りました。
○三密なところ
○外国の言葉がわからない。何を考えているかわからない。においが気になる。
○日本の慣習や考え方、捉え方が先方と違うので、なぜ?どうして?の質問にはっきりと答えられない時もある。
○言葉の問題で上手く伝えられない。
○対話。話をしている言葉が通じないことがあった。文化の違い。食事を誘った際割り勘にしましたがブラジルでは誘った方が支払うと言われた。
○犯罪などの強要や黙認(不法滞在など)等の要求を求められる。こうした外人を指摘すると「差別」扱いになる。ブラジル人やフィリピン人からの殺人予告、壁や窓などをたたき脅迫され、菊川警察を呼び対応をしてもらおうにも、「差別だから対応できない」と言われた。証拠映像を見せても対応しない地区。外人の犯罪が野放し状態。
○言葉が上手く通じない
○宗教の勧誘

(7)あなたは外国人と関わる中で良かったことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

○10歳代～60歳代では「外国人に対する差別意識をもたないようにする」と回答する割合が最も高くなっており、70歳代では「外国人に対する差別意識をもたないようにする」「日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする」の割合が同数で最も高くなっている。

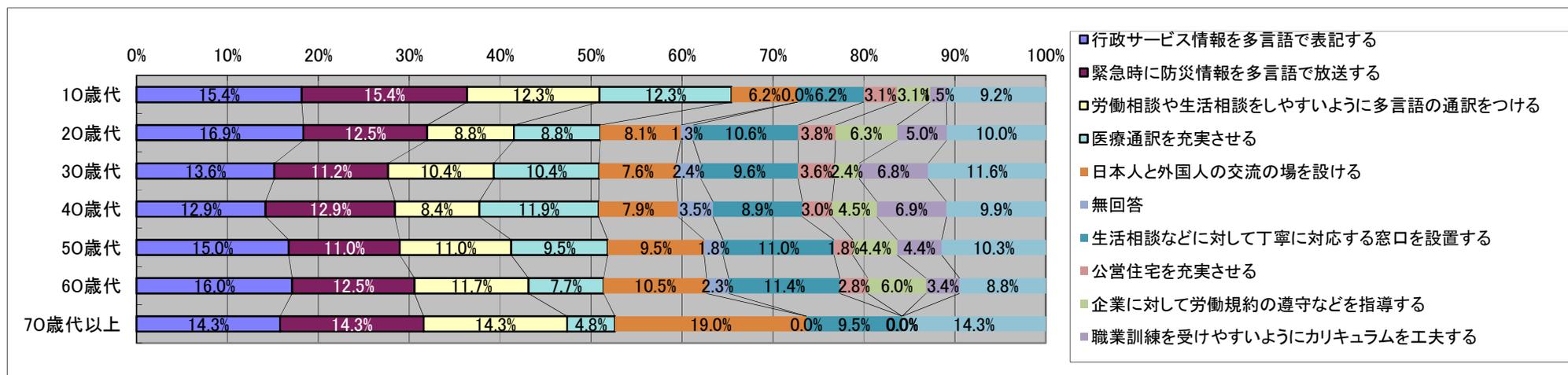
選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
外国人に対する差別意識をもたないようにする	230	24.7%	10	24.4%	28	26.4%	41	23.8%	28	21.4%	46	22.8%	70	28.1%	4	21.1%	3	25.0%
日本語や日本文化の多様性を日本人が自ら知る努力をする	97	10.4%	7	17.1%	14	13.2%	19	11.0%	12	9.2%	16	7.9%	24	9.6%	4	21.1%	1	8.3%
日本語や日本文化を外国人に学んでもらうようにする	126	13.5%	4	9.8%	15	14.2%	24	14.0%	21	16.0%	30	14.9%	29	11.6%	3	15.8%	0	0.0%
日本で生活するルールを守るように外国人に呼びかける	191	20.5%	7	17.1%	19	17.9%	35	20.3%	27	20.6%	49	24.3%	48	19.3%	3	15.8%	3	25.0%
地域住民との交流や地域の活動に外国人に参加を呼びかける	130	13.9%	4	9.8%	13	12.3%	20	11.6%	16	12.2%	32	15.8%	41	16.5%	3	15.8%	1	8.3%
外国語の言葉や文化を学ぶ	133	14.3%	8	19.5%	16	15.1%	29	16.9%	21	16.0%	26	12.9%	28	11.2%	2	10.5%	3	25.0%
無回答	25	2.7%	1	2.4%	1	0.9%	4	2.3%	6	4.6%	3	1.5%	9	3.6%	0	0.0%	1	8.3%
合計	932	100.0%	41	100.0%	106	100.0%	172	100.0%	131	100.0%	202	100.0%	249	100.0%	19	100.0%	12	100.0%
回答者数(合計-無回答)	907		40		105		168		125		199		240		19		11	



(8)日本人と外国人がともにくらしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。当てはまるものすべてを選んでください。

○10歳代、40歳代、70歳代では同数で「行政サービス情報を多言語で表記する」「緊急時に防災情報を多言語で放送する」と回答する割合が最も高くなっており、「特になし」の割合が高くなっている。

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
行政サービス情報を多言語で表記する	199	14.9%	10	15.4%	27	16.9%	34	13.6%	26	12.9%	41	15.0%	56	16.0%	3	14.3%	2	16.7%
緊急時に防災情報を多言語で放送する	163	12.2%	10	15.4%	20	12.5%	28	11.2%	26	12.9%	30	11.0%	44	12.5%	3	14.3%	2	16.7%
労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳をつける	139	10.4%	8	12.3%	14	8.8%	26	10.4%	17	8.4%	30	11.0%	41	11.7%	3	14.3%	0	0.0%
医療通訳を充実させる	128	9.6%	8	12.3%	14	8.8%	26	10.4%	24	11.9%	26	9.5%	27	7.7%	1	4.8%	2	16.7%
無料の日本語教室を開く	117	8.8%	10	15.4%	13	8.1%	21	8.4%	19	9.4%	28	10.3%	24	6.8%	2	9.5%	0	0.0%
日本人と外国人の交流の場を設ける	119	8.9%	4	6.2%	13	8.1%	19	7.6%	16	7.9%	26	9.5%	37	10.5%	4	19.0%	0	0.0%
生活相談などに対して丁寧に対応する窓口を設置する	136	10.2%	4	6.2%	17	10.6%	24	9.6%	18	8.9%	30	11.0%	40	11.4%	2	9.5%	1	8.3%
公営住宅を充実させる	38	2.8%	2	3.1%	6	3.8%	9	3.6%	6	3.0%	5	1.8%	10	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
企業に対して労働規約の遵守などを指導する	68	5.1%	2	3.1%	10	6.3%	11	4.4%	9	4.5%	12	4.4%	21	6.0%	0	0.0%	3	25.0%
職業訓練を受けやすいようにカリキュラムを工夫する	64	4.8%	1	1.5%	8	5.0%	17	6.8%	14	6.9%	12	4.4%	12	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
外国人に対して差別がなくなるように外国文化などを理解する機会を設ける	134	10.0%	6	9.2%	16	10.0%	29	11.6%	20	9.9%	28	10.3%	31	8.8%	3	14.3%	1	8.3%
無回答	29	2.2%	0	0.0%	2	1.3%	6	2.4%	7	3.5%	5	1.8%	8	2.3%	0	0.0%	1	8.3%
合計	1,334	100.0%	65	100.0%	160	100.0%	250	100.0%	202	100.0%	273	100.0%	351	100.0%	21	100.0%	12	100.0%
回答者数(合計－無回答)	1,305		65		158		244		195		268		343		21		11	



(9) 多文化共生に対する ご意見、ご要望

○外国人への偏見はあまりないですが、税制面で日本人の税金で外国人の人は優遇されすぎではないか？という話を聞きました。実態はわかりませんが、家族で帰国できるほど控除を受けて、一度帰国する人もいたと聞きました、私たちはそんなに控除を受けられないですし、税金も多く払っているので、納得できない気持ちがあるのは無理ないと感じた出来事でした。多文化共生であればその辺も課題となると思います。

○高齢化、国際化が進んでいる世の中では、外国籍市民の力を必要とせざるを得ないと感じています。特に公共施設等での多言語に対応できる機器や窓口を充実させていただきたいと思います。

○何より人間としての優しさをもって外国人に接することが大切だと思います。

○日本は英語教育の始まりが遅い気がする。外国の文化ももっと勉強し、特に韓国など朝鮮に対する差別がひどいため、理解しあえるような環境を望む。

○日本に来る前に、日常生活で困らないレベルの日本語を覚える。または、通訳を雇う等してコミュニケーションを取ってほしい。

○問37 は差別が生じていると感じました。3.「学んでもらうようにする」→「学びやすい環境を整える」にした方がいいと思いました。

○共通言語に触れる機会が多ければ多いほど、多文化理解が(英語、中国語)増えると思います。

○全て反対です。日本に好んで来ているにもかかわらず、なぜ税金を使って上記の様な事をする必要があるのですか？行政サービス等全て日本語と英語でいいのでは？アメリカやフランスではその国の言葉が話せないと生活するのは難しい。だから現地言葉の覚えるのです。日本人が海外で生活する時に相手国は上記の様なサービスはしません。日本人がそこにあわせています。

○外国人の方も自己主張できる場があるといい。私達が外国人が何を考えているか、考え方等知り、理解しあうことができる。とにかく学校、会社等日常での交流を大切に外国人が、日本で暮らす時困っている事を知りたいです。

○全体的に問の内容が差別的な質問になっていて、これを作成した人々の方が差別意識をもっているのではと感じる。

○多文化共生は良いと思う。でも強制とかは良くないと思う。やりたい人はSNSとかあるから勝手にやると思うから、そういう人がいたらサポートできるようなサービスや制度があったら良いと思う。留学とかお金がないとできないから、こういうのをサポートするとか。

○自分の仕事では、人材さん(日本人は今はいなくて、フィリピン人が多数、ブラジル人が少数)は、同じ仕事をして正社員になった人はありません。部署を異動させるから、日本政府は忙しい時に外国人を入れ、バブルだ、リーマンだ、コロナだ、外国人の職をなくしている。保護をしていないでしょ。菊川は外国人いっぱいいるのだから、仲良くもっと助けてやらないと、国にも会社にも言ってください(同一労働、同一賃金と正社員のこと)。そして、仲良しになる企画いっぱい作ってください。外国と外国人と仲良しになるのが平和だと思います。男も女も同じことできる社会が男女平等だと思います。先進国の中で、コロナ禍で一番あいまいでヤバイジャッジになっているので、チシット菊川市役所お願いします。

○今もやっていると思いますが、中・英・ポルトガル語は曜日を決めて相談窓口を開く。

○犯罪する外国人の通報が毎日のようにあるが、犯罪をしなければならないほど追い込んだのは日本人では？文化の理解は重要だが、そんなことよりもっとお金をあげてほしい。衣食足りて礼節を知るように、まずは最低を目指すべき。今は最低下にある気がしてならない。菊川に来て2年目だが、怖い外国人に絡まれる機会が多い。浜松ではなかった。

○近所に外国人が住んでいる場合は、積極的に話しかけ、地域になじめるように努力することが大事だと考えます。

○アンケートを住民全員に配布し、実情を広報誌などで結果を報告してほしい。子供も大人も考え方はそれぞれだと思う。形だけのアンケートは必要ないと考えます。この中にも、意味わからない質問が多々あったように思います。形式にとられないアンケートをお願いします。

○外国人はこわいという意識があります。気を付けなくてはいけないと思っています。

○国や性別など関係なく、人間は一人ひとり違って当たり前という考えに、一人ひとりが理解していくことが大切だと思います。

○あぶない外国人もいるのでそこが心配

○日本語の定着努力

○今は外国人との交流がほぼないので、逆に交流したいと思います。

○外国人の賃金上昇がない限りは解決は絶対に無理です。

○あまり興味ない

○長い歴史から見て、柔軟な日本人は外国の文化を取り入れるのが上手いので、このままで良いと思う。自然にまかせて！

○行政は、モデルとなる都市（浜松等）に担当する方を出向させ、トレーニングを受け、問題点又菊川市に受け入れる事を勉強させる。それからの展開とする。まず、行政は学習が必要！

○差別以前に、日本人の生活を壊さないでほしい。好き放題されて迷惑しか感じない人もいる。できればいなくなってほしい。

○今の子どもは周りに外国人が多く差別意識がない。お互いが尊重している。行政としては、困っている人をフォローしてほしい。

○理解の無い外国人は不用。

○学校では、日本語のわからない子、金銭的に厳しく様々な費用が払えない家庭、日本の生活に適應していない人など、企業が受け入れるだけ受け入れ、学校、教育が乱れている。しっかりと適應するように対応してほしい。

○近所に外国の方がいるが、言葉の細かいニュアンス等はどうしても難しい部分がある。受け入れる側も「自分が外国で生活することになった場合」をイメージし、もう少し外国の方にやさしい受け入れ態勢をとるべき。（意識の問題なので、すぐには変わらないと思うが）

○お互いが文化や宗教の違いを認識する。

○外国人の方に本音の部分聞き出させていただくのがいいと思います。住みやすい街について など。

○多様性を認めていくべきだと思う。

○外国人に日本語を覚えてもらうばかりではなく、日本人も英語以外、地域に合った言葉を学ぶ気持ちと機会を増やす。

○日本で暮らす以上、日本語を理解し、ルールを守ることは必須であると思う。私は、真面目に働き日本のルールを守る外国人は好きだが、そうでない外国人は嫌いである。これは人種差別ではないと思っている。やたら優しくしたがる日本人が理解できない。

○日本人の住民も外国人の方々に対しての苦手意識などを持たないように、偏見が減るように努力できる場があればと思う。特に、年代が上だとより偏見が強くなるので、そこの気持ちが少しでも和らぐような活動があれば良いのかもしれない。

○お互いの文化の違いを認め合い、理解しながら生きていけたら良いと思います。

○地域のルールを理解し守ってもらうことができるように、注意事項等にできるだけ外国の住人の理解できる言葉を添えること必要だと思う。(ゴミ出し、ペットなど)

○お互いの文化をよく学び、話し合う場を積極的に持つ方が良い。まず、ここは日本です。自国ファーストです。相手ファーストではありません。そこをはき違えるから、中国や韓国になめられ、侵略されるのです。自国ファーストに考えなければ、いつまでたっても外交はおろか健全な地域社会が築けないと私は思います。

○外国人と共生する上で、日本に住む以上外国人は日本語を学び、日本のルールを理解し守る必要があると思います。

○家族のものが職場でイスラムの人と食事をする際、豚肉、牛肉が食べることができないと言い、非常に困ったと言っていました。

○日本の文化だけに着目するのではなく、外国の文化にも着目し、理解を得ることが必要かと思えます。「自国の文化が当たり前」という考え方では、日本人と外国人が共に暮らしやすい、生活しやすい環境というのは生まれませんかと思えます。両国の文化を尊重しあうことが共に生活しやすい場を作り出すのではないかと思えます。

○同じ日本でも市外、県外などでも習慣やしきたりの違いはあります。外国の文化や感覚も戸惑いますが、興味もあります。子ども同士が公園で一緒に遊んでいることもあるので、大人も笑顔で楽しんでいました。昔の友人に外国の方がいましたが、文化を教わったり、おいしい食事をごちそうになり、より一層仲良くなれた気がしました。

○毎年アンケートをやっている気がします。同じ人ではなく、異なる人にやってください。送付する人の記録はないのですか？結果はどのように公表しているのですか？アンケートは役に立っているのですか？疑問です。毎年やるたびに思えます。

○外国人の方が日本に住むには、各地方公共団体などで「住むための研修」を受けることが必要だと思う。その国の地域性もあるため、日本に外国人を入国させるのなら、日本の生活マナーやルール等の教育が必要。日本人の連れ去り事件等のリスクを避ける犯罪を防ぐ努力も必要。常に平和ではない。危機感を持つこと。

○日本人に対する人権がまるで感じられない最悪なものでした。最後に、私はハーフであり、日本人愛しています。

○自分の勤める工場では、外国の方がたくさんいらして真面目に働いてくれ助かっています。差別なく感謝の気持ちを持ちたいと思います。

○一軒家に住んでいると地域の付き合いが多く、日本人でも理解に苦しむことや不思議なことがあります。今までの習慣の押し付けもありますが、そこに意見を言うのは至難です。同調圧力が半端ないです。多文化共生の前に、この同調圧力や村意識をなくすことでは？と思うけど、地元愛や地域コミュニケーションと表裏一体なのでなんと難しい。